

# 総武線沿線地域の生徒の学習機会の確保のため

## 夜間定時制高校4校の募集停止の延期を求める陳情

2005年 9月

東京都議会議長 殿

### <陳情事項>

東京都において、総武線沿線の墨田・江東・江戸川地域にある都立夜間定時制高校の平成18年度生徒募集に際し、希望する生徒の学習する機会を保障するため、募集停止が予定されている夜間定時制4校(両国・墨田川・小岩・小松川)の募集停止の延期を東京都教育委員会に要請していただきたい。

### <陳情理由>

昨年の入試で大江戸高校の開校に伴って、まわりの夜間定時制3校の募集停止がされたため、墨田・江東・江戸川地域にある夜間定時制の二次募集に応募者が殺到し64名の不合格者が生まれました。さらに今年の入試でも総武線沿線地域の夜間定時制の一次二次募集に多くの応募者があり、引き続き一部定時制に不合格者が出るなど、ほぼ各校定員一杯の状態にあります。

来年度、台東地区昼夜間定時制高校が開校する時には極めて深刻な事態が予想されます。もともと江東・江戸川地域から台東地区に通える条件の生徒はほとんどいない上に、総武線沿線で4校の定時制高校が同時に募集停止になれば、一度に180名の募集枠がなくなり、総武線沿線に残る普通科定時制は江戸川高校のみで60名定員の募集枠しか残りません。多くの生徒が全く行き場を失って結果的に高校進学をあきらめてしまう事態が危惧されます。こうしたことから中学校の現場や地元地域住民から心配と不安の声が高まっています。現在夜間定時制高校には、様々な事情や経歴を持った生徒が通ってきています。近くにあって家庭的な雰囲気から通えるという生徒も多くいます。こうした生徒の学習する機会を保障するためにも、決まった計画だからと一律に募集停止や廃校にするのではなく、新たな事態に適切に対応出来るよう該当校関係者や地元の意見を十分聞き、生徒受け入れ枠確保ため募集停止時期の延期等、十分な対応措置を講ずるよう陳情いたします。

総武線沿線夜間定時制高校の教育を考える会

世話人代表

高橋 彦博

氏名	住所